

令和2年度 理科

教科	理科	科目	地学	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	「地学」 (啓林館)						
副教材等	センサー地学 (啓林館) 地学図録 (数研出版)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・学習を通じて科学的な自然観や倫理観を養い、科学的に探求する能力と態度を育てるために、毎時間の授業で、常に目的意識を持って受けることが望ましい。
- ・授業の中だけでなく、日常生活の中の様々な場面で、知識を活用する力や新しい見方を得ることにより、豊かな考え方、感じ方を身につける。

2 学習の到達目標

科学的な自然観や倫理観を養い、生徒の意欲を喚起し、科学的に探求する能力と態度を育てることにより、知識の習得に終わらず、知識を活用し自ら考える力をつけることを目標とする。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 観察・実験の技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	われわれの身の回り にある自然現象に興 味や関心を持ち、また それらから環境に関 しても考えようとする 態度を身につけて いる。	科学的に関する与え られた課題をこなす だけでなく、自ら課題 を見だし、解決を目 指し思考を深め、適切 に判断し、工夫する能 力を見につける。	実習に関する器具を きちんと取り扱うこ とが出来、実習で得 られる様々な現象を 見逃さない観察力を 見につけている。	身の回りにある自然 現象や出来事、また 地球上の環境問題や 災害に関する知識を 総合的に見につけて いる。
評 価 方 法	・授業に向かう姿勢 ・内容に関する関心 ・提出物の状況 ・自己評価	・課題解決学習 ・学習取り組みレポー ト ・提出物	・実習器具などの取 り扱い ・グループワークの 取り組み ・実習結果のまとめ のプリント	・定期考査 ・小テスト ・提出物
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

月	単元名	学習内容	評価のポイント	主な評価の観点				単元（題材）の評価基準	評価方法
				a	b	c	d		
10月	地球の概観	地球の観測 重力で探る地球の内部 地震波で探る地球の内部 熱で探る地球の内部 地磁気で探る地球の内部	・地球の様々な概略にかんして物理・化学性を理解したか。 ・ブーゲー異常、フリーエア補正などについて理解できたか。 ・地震波でなぜ地球内部の様子が分かるかが理解出来たか。	○	○	○	○	a：地球の内部に興味や関心を持ち、またそれらから環境に関しても考えようとする態度を身につけている。 b：地球の内部に関する与えられた課題をこなすだけでなく、自ら課題を見だし、解決を目指し思考を深め、適切に判断し、工夫する能力を見につける。 d：地球の内部に関する知識を総合的に見につけている。	・授業に向かう姿勢 ・内容に関する関心 ・提出物の状況 ・自己評価 ・課題解決学習 ・学習取り組みレポート ・提出物 ・定期考査 ・小テスト ・提出物
11月	プレートテクトニクス	地球表面を覆うプレート 地球の変遷 プレートテクトニクスとマントルの動き。	・プレートとプレートテクトニクスが理解できたか。	○	○	○	○	b：プレートに関する与えられた課題をこなすだけでなく、自ら課題を見だし、解決を目指し思考を深め、適切に判断し、工夫する能力を見につける。 c：プレートに関する器具をきちんと取り扱うことが出来、実習で得られる様々な現象を見逃さない観察力を見につけている。	・課題解決学習 ・学習取り組みレポート ・提出物 ・実習器具などの取り扱い ・グループワークの取り組み ・実習結果のまとめのプリント
12月	地球の活動	地震 地殻変動 火山と火山活動	・震度とマグニチュードの違いや内陸型地震による押し引きの概念と海溝型地震の初動との違いが理解できたか。 ・地震に関する関心が深まったか。 ・マグマの発生条件、火成岩の外観・顕微鏡観察による特徴と成因との間の関係が理解できたか。 ・プレートの運動と火山帯の場所、活動様式の間関係が把握出来たか。 ・火山前線が出来る理由	○	○	○	○	a：地球の活動に興味や関心を持ち、またそれらから環境に関しても考えようとする態度を身につけている。 b：地球の活動に関する与えられた課題をこなすだけでなく、自ら課題を見だし、解決を目指し思考を深め、適切に判断し、工夫する能力を見につける。 c：地震や火山に関する器具をきちんと取り扱うことが出来、実習で得られる様々な現象を見逃さない観察力を見につけている。 d：地震やプレートに関する知識を総合的に見につけている。	・授業に向かう姿勢 ・内容に関する関心 ・提出物の状況 ・自己評価 ・課題解決学習 ・学習取り組みレポート ・提出物 ・実習器具などの取り扱い ・グループワークの取り組み ・実習結果のまとめのプリント ・定期考査 ・小テスト ・提出物

1月	太陽系の天体	地球の運動 惑星の運動 太陽系の天体 太陽	・地球の自転公転の証拠について説明できるか。 ・パーセク・年周視差などの恒星までの距離について理解出来たか。	○	○	○	○	b: 惑星に関する与えられた課題をこなすだけでなく、自ら課題を見だし、解決を目指し思考を深め、適切に判断し、工夫する能力を見につける。 c: 惑星に関する器具をきちんと取り扱うことが出来、実習で得られる様々な現象を見逃さない観察力を見につけている。 d: 惑星に関する知識を総合的に見につけている。	・課題解決学習 ・学習取り組みレポート ・提出物 ・実習器具などの取り扱い ・グループワークの取り組み ・実習結果のまとめのプリント ・定期考査 ・小テスト ・提出物
2月	恒星の性質と進化 ・銀河系と宇宙	恒星の光 恒星の性質とHR図 恒星の誕生と進化 銀河系 銀河と宇宙	・HR図について理解出来たか。 ・恒星の進化について理解できたか。 ・銀河と銀河系の構造、宇宙の大規模構造について理解できたか。	○	○	○	○	a: 恒星や銀河系に興味や関心を持ち、またそれらから環境に関しても考えようとする態度を身につけている。 c: 恒星や銀河系の調査に関する器具をきちんと取り扱うことが出来、実習で得られる様々な現象を見逃さない観察力を見につけている。 d: 恒星や銀河系に関する知識を総合的に見につけている。	・授業に向かう姿勢 ・内容に関する関心 ・提出物の状況 ・自己評価 ・実習器具などの取り扱い ・グループワークの取り組み ・実習結果のまとめのプリント ・定期考査 ・小テスト ・提出物

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現
 c: 観察・実験の技能 d: 知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。